

# 市の財政状況は大きく悪化しています！

～財政のスリム化と行政改革

昨年度、四街道市では約10億円の基金（貯金）を取り崩し、新たに約25億円の市債（借金）を発行しました。その結果、市の基金は約85億円に、市債の発行残高は約222億円となり、実質的な市の借金額は約137億円にのぼります。

また、人件費や公債費など市の固定的な支出割合は98.4%にまで上昇し、新規事業や緊急性の高い事業には総予算（約267億円）から4億円程しか使えず、残り必要な10数億円は基金の取り崩しと新たな市債とに頼っている現状です。

もし今の状態が継続されるなら、市内で65歳以上の高齢者が3万人を超える10年後には基金（貯金）をほぼ使い果たし、市債発行額残高（借金）も300億円に近づくため、高齢者のための福祉予算すら確保できない状況となります。直ちに財政を健全化し、将来の支出に備えるべきです。

（データ）経常収支比率（人件費や公債費などの固定的な支出割合）

平成25年 93.32% （千葉県54団体中）ワースト8位

平成26年 98.4% ” 1位？

## <対策>

### 【全事業に厳格な評価・検証制度の導入を！】

- ①事業のムダを調べる評価制度の確立
- ②補助事業の有効性を調べる検証制度の導入

### 【道路計画など都市政策全体の見直しを！】

- ①都市計画道路の見直しと、新たな道路建設の凍結
- ②生活道路の整備を中心とした道路政策の転換

### 【財政健全化のための数値目標の設定を！】

- ①歳入に対する市債発行残高（借金）の上限設定
- ②歳出に占める公債比率（借金割合）の上限設定

### 【その他の政策】

- ①行財政改革の徹底と議員定数の削減
- ②地域経済の活性化による増収
- ③市有資産の活用や遊休地の売却